

保安管理体制に欠陥

高島砒災害などの教訓いかされず



自然発火が起きた四山鉱のやぐら

四山鉱で自然発火事故

保安団交開けと申し入れ

五月二日午前三時三十七分ごろ、四山鉱(山下博通鉱長)本層西六十部東六片坑道奥部(坑口から九千八百五十五メートル・深さ六百八十メートル)で自然発火による坑内火災が発生しました。火はセンサーで感知、排気道への立ち入りが禁止されたため幸い罹災者はありませんでしたが、早期発見などの対策に問題があるとみられます。

この自然発火事故は、同日午前三時三十七分ごろ、集約センターのCOセンサーの数値が上昇したため、同センターからの指令で通気検査員が現場に急行、約十分後に東六片坑道から煙が発生しているのを発見したとの連絡を受けて坑内全域に排気坑道への立ち入りを禁止しました。

さらに四時五十分ごろ、東六片坑道奥部で発火しているのが発見されたので、直ちに現場付近の係員と作業員(当日は休日)を現場に急行させ、消火に当たりました。

自然発火に伴う保安団交申し入れ

三池労組は、有明鉱大災害を教訓として坑内火災防止対策を講ずるため、巡回の強化、施設の改善



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033-4
編集兼 杉本一男
発行 半年間 1,200円 送料共
振替口座番号
労金大牟田 0968946-005

公判のお知らせ
9・28 坑内火災裁判公判
六月六日午後一時から、福岡地方裁判所。(47回)
11・9 三池大災害裁判公判
六月十日午後一時から、福岡地方裁判所。(57回)

三川鉱で自然発火
五月十四日早朝、三川鉱(大内徳司鉱長)第二上層西七十五部東十三片坑道で自然発火の兆候を発生、十二片坑道跡跡のヒール張り、十三片口の密閉、注水を実施し監視を強めています。

11・9 大衆討議へ

「和解意思」打診について
「三池労組の態度」を提案

全治療さらに「災害絶滅」「労災法の抜本改正」の一環として全力をあげて原告団、弁護団を先頭に、そして全国の仲間の手助けを受けながらたたかってきました。この裁判について一月二十二日谷水裁判長から「和解意思の有無」について打診を受け、その後原告団内部の討議に入り、四月二十一日に原告団の臨時総会を開き意思集約をはかりました。裁判所への回答を次回公判(六月十日)まで再度延ばして十分な議論をふまえた原告団の意思は、大勢として「和解の席につく」ということになった。

三池労組は、この原告団の意思を尊重した上で執行部として慎重に検討し、五月十三日の第十四回委員会に「和解の席につく」ことを前提とした「11・9CO裁判の「和解意思」打診に対する態度について」を提案し、大衆討議に入り、この大衆討議は五月三十日に予定されている委員会に集約されますが、今後のたたかいを含めて十分な討議が求められています。

日	内容
4月21日	原告団臨時総会
23日	春闘中央交渉会
24日	高島砒ガス爆発発生
26日	四山鉱生産会議
26日	三川鉱生産会議
27日	保安委員会
5月1日	第五十六回メーデー
7日	第十三回委員会
9日	炭労書記長会議
13日	第十四回委員会
16日	本所生産会議
16日	不当弾圧決起集会
19日	第十五回委員会
20日	炭労高橋次長三川入坑
21日	保安団交
21日	執行部入坑点検・四山
22日	執行部入坑点検・三川
23日	港務所生産会議
27日	炭労保安部長会議
28日	炭労労働部長会議
29日	炭労賃金専門委員会
30日	第十六回委員会
31日	大地評交流集会
6月4日	炭労書記長会議
6日	炭労厚生部長会議
7日	炭労教育部長会議

有明鉱大災害の刑事責任 平賀所長(当)ら9人を送検

昨年一月十八日、会社の保安サボによって引き起こされた有明鉱大災害の刑事責任を追究していた福岡県警と大牟田署は、五月十五日災害当時の平賀哲陽三池炭業所長ら十九人を業務上過失致死傷の疑いで福岡地方検察庁に送検しました。被疑者は次の通りで、同書は当時。(一)内は容疑事項。

救急施設の保全
佐藤政明前保安副長(救急施設の保全)
田畑昭三前保安係長(救急施設の保全)
水本誠保安係長(救急施設の保全)
西東平八三交代係長(避難誘導)
本田政昭電気係員(避難誘導)
伊久美武秀施設副長(出火場所の管理)



平賀前所長 黒田現所長 松本前有明鉱長

森川学本線機械係長(右同)
田中博人機械電気主任係員(同)
吉田定己三交代主任係員(同)
辻啓輔三交代主任係員(同)
永江光義機械主任係員(同)

北海道では桜の花が咲き、沖繩は梅雨入り。五月は五月とも雨月ともいう。暑くも寒くもなく、もっとも気候のよい月だが、人並みにレジャーを楽しむわけにもいかない。「庭土に卑月の唄の親しさよ」芥川龍之介。
経済摩擦の内因ともなっている日本の長時間労働は、労使ともに国際的批判の対象になっている。早出、残業は当たり前、風呂敷、残業、公休出勤、年休(特別休暇)の返上・不消化、屋の休憩さえ奪われ、疲労、病气、自殺、突然死の激増。どこまで行けば、人へらし、合理化はとまるのか。ゆとりと真の時短が急がれる。
総務庁が発表した貯蓄動向調査報告によると、昨年末で全国勤労者世帯は平均で、六百四十九万円の貯蓄を持ち、二百三十六万円の借金を持っている。前年比で貯蓄は六・二%増え、借金は倍以上の十三・六%も増えている。貯蓄の伸び悩みは歴然としているが、老後の備えに懸念というところか。しかし嘆息が出るね。
予想されたように、有明鉱大災害の刑事責任追及は業務上過失で所長らが送検された。社長は雲の上か。法の矛盾である。炭鉱事故では立証は困難とされ、とくに幹部の責任を問うのは至難とされる。それによってしか構造切りの断じて許されない。
依然として炭鉱災害がつつく。そして表に出ぬ事故が……。四山鉱の自然発火では幸い犠牲者こそ出なかったものの、背筋に水が走った。三川鉱の自然発火の徴候も労働組合に説明すらしない。「事故かくし」の姿勢をまざまざと見せつけた。ガス、火、水この三恐を防ぐには「必要な人員」の確保が前提となる。

地底

北海では桜の花が咲き、沖繩は梅雨入り。五月は五月とも雨月ともいう。暑くも寒くもなく、もっとも気候のよい月だが、人並みにレジャーを楽しむわけにもいかない。「庭土に卑月の唄の親しさよ」芥川龍之介。
経済摩擦の内因ともなっている日本の長時間労働は、労使ともに国際的批判の対象になっている。早出、残業は当たり前、風呂敷、残業、公休出勤、年休(特別休暇)の返上・不消化、屋の休憩さえ奪われ、疲労、病气、自殺、突然死の激増。どこまで行けば、人へらし、合理化はとまるのか。ゆとりと真の時短が急がれる。
総務庁が発表した貯蓄動向調査報告によると、昨年末で全国勤労者世帯は平均で、六百四十九万円の貯蓄を持ち、二百三十六万円の借金を持っている。前年比で貯蓄は六・二%増え、借金は倍以上の十三・六%も増えている。貯蓄の伸び悩みは歴然としているが、老後の備えに懸念というところか。しかし嘆息が出るね。
予想されたように、有明鉱大災害の刑事責任追及は業務上過失で所長らが送検された。社長は雲の上か。法の矛盾である。炭鉱事故では立証は困難とされ、とくに幹部の責任を問うのは至難とされる。それによってしか構造切りの断じて許されない。
依然として炭鉱災害がつつく。そして表に出ぬ事故が……。四山鉱の自然発火では幸い犠牲者こそ出なかったものの、背筋に水が走った。三川鉱の自然発火の徴候も労働組合に説明すらしない。「事故かくし」の姿勢をまざまざと見せつけた。ガス、火、水この三恐を防ぐには「必要な人員」の確保が前提となる。